

# 地域女性活躍推進つながりサポート事業 【鹿児島県始良市】

総事業費	500 千円
交付金額	250 千円

## 地域の実情と課題

本市では、女性の非労働力人口が多く、女性で配偶者がいる層の労働力率も下がる傾向があり、いわゆるM字カーブが生じている。業種別の就業者は、医療・福祉分野、卸売業・小売業、製造業が多く、コロナウイルス感染症の影響が大きかった業種であったため、女性の働き方にも大きな影響が及んでいた。生活困窮者自立支援事業では令和3年度は10月末の時点で、コロナ前の1年分に相当する支援件数に至り、女性の比率が増加している状況にあった。同年度は「生理の貧困」を巡る問題も顕在化し、生理用品を公共施設等で配布を行ったが、配布だけにとどまらず困りごとの声を拾い相談支援につなげること、その取り組みを継続的に行うことが課題になっていた。

## 事業の特徴

経済、健康、生活全般に不安や孤独を抱える女性に対し、社会との絆・つながりを回復することを目指すため、第1・3土曜日に相談窓口の開設を行ったほか、第3土曜日には女性のために居場所づくりに取り組んだ。また、主に女性を対象とした相談や支援を行っている支援者に対して、スキルアップのための研修を実施した。

## 事業の効果

①「困難や不安を抱える女性」に対する生活相談支援  
土曜日に相談できる窓口があることが安心感につながり、孤独や不安の解消の一助となった。

②「困難や不安を抱える女性」に対する居場所の提供  
広報の成果もあり徐々に参加者は増加した。1月からはSNSでの周知も活用し、若い世代の参加者が増えた。必要に応じて生理用品や生活用品（寄贈物品）の配布を行い、他の相談窓口へと繋ぐことができた。

③「困難や不安を抱える女性」に対する支援者養成  
講座終了後のアンケートでは、「参考になった」という回答が9割を占め、「生きづらさを抱えた女性の問題について考えることができた」「支援者側が社会と繋がることの大切さを学んだ」などの意見があり、女性を取り巻く課題、専門機関との連携について、研修を通して知っていただくことができた。

## 目的・目標

女性の活躍を促進する基盤づくりを総合的に進めるため、経済、健康、生活全般に不安や孤独を抱える女性に対し、社会との絆・つながりを回復することを目指す。

①「困難や不安を抱える女性」に対する生活相談支援  
市内在住で孤独・孤立により困難や不安を抱える女性に対し、相談会、生理用品を含む物資の無料配布を行う。  
(相談者8人 目標値:①②で50人)

②「困難や不安を抱える女性」に対する居場所の提供  
市内在住で孤独・孤立により困難や不安を抱える女性に対し、お互いの経験や思いを語り合い支え合う場所づくり。  
(利用者49人 目標値:①②で50人)

③「困難や不安を抱える女性」に対する支援者養成  
主に女性を対象とした相談や支援を行っている支援者に対して、スキルアップのための研修を実施する。  
(受講者38人、「参考になった」との感想90%  
目標値:受講者数20名 講座受講者の満足度80%)

## 連携団体

主な連携団体  
始良市社会福祉協議会(本事業委託先)  
社協が受託する事業(生活困窮者自立支援事業)との連携も行った。

その他連携団体等  
NPO法人こころのサポートアミ ほか

## 今後の課題

- ・支援を必要とする女性に対する支援を安定して継続的に提供できるよう体制の整備を進める。
- ・SNSの活用を含めた周知啓発をさらに進める。
- ・女性のための事業を軸に、地域に広く横につながりが形成できるような取組の推進。

# 女性活躍推進つながりサポート事業

(委託先: 始良市社会福祉協議会)

### ①「困難や不安を抱える女性」に対する生活相談支援

女性相談(毎月第1、第3土曜日 13:30~15:30) 23回実施(うち1回は「福祉まつり」会場内に設置した) 相談者数8人

相談内容としては、夫婦や家庭に関することが多く、その他、仕事や経済的不安などの相談があった。また、障がいや子どもに関するものは、各関係機関に情報提供を行い、生活困窮の相談に来られた方は、自立相談支援機関(社協)にて後日面談や訪問支援を行った。



### ②「困難や不安を抱える女性」に対する居場所の提供

(毎月第3土曜日 13:30~15:30) 参加者数49人

5~12月は、ミサンガ作りや削り絵などの製作活動をしたり、お茶を飲みながらゲームや話をしたりするなどの茶話会を行い、1、2月はヨガ講座を実施した。参加者が来られた際には、必要に応じて生理用品や生活用品(寄贈物品)の配布を行い、会終了後には話を聞いてほしいと声をかけられることもあり、他機関の窓口につなぐことができた。



### ③「困難や不安を抱える女性」に対する支援者養成

3回連続×2部開催 参加者数38人

主に女性を対象とした相談や支援を行っている支援者に対して、スキルアップのための研修を実施した。

1コマ120分×3回で完結し、同一内容の講義を2部に分けて実施かつ、一部オンラインで実施することで、受講者の分散を図り、密にならない状況での受講環境を整備した。

参加者職種: 女性相談員、民生委員、母子推進員、相談支援経験者